

山形の新しいお米



つや姫  
TSUYAHIME

# やまがた米だより

No. 1

～山形の米情報を皆様に～

平成23年5月25日発行

山形県庁県産米ブランド推進課

山形つや姫ブランド化戦略推進本部事務局

このお便りは、つや姫など米づくり産地山形のホットな情報を皆様にお届けするために継続して発行します。  
ぜひご覧下さい。ご意見や感想などをお寄せいただければ幸いです。

## 【いよいよ全国デビュー2年目の農作業がスタート】

山形県内の田植えは、今年も日本海側の庄内平野で5月8日頃からスタートしました。大雪と4月の低温のため、雪解けが遅れたことから、県内の田植え作業のピークは5月21日頃でした。これは、平年より4日遅れですが、山間部も含め5月中には終了できる見込みです。

田植え始期      田植え盛期

本年(平年差)    5月16日(+4日)    5月21日(+4日)

## 【生育状況 5月10日現在】

移植時苗の生育は、苗丈(苗の長さ)、葉数(苗の葉の枚数)、充実度(苗の重さ)とも平年より劣りました。

年次	苗丈 (cm)	葉数 (枚)	充実度 (mg/cm)	移植期 (月.日)
本年	11.3	2.4	1.14	5.10
平年比	87%	86%	96%	±0

品種: はえぬき    水田農業試験場(鶴岡市)



遠く霊峰月山を背に田植え  
(山形市、5月18日)



鳥海山に抱かれ、庄内平野の田植え  
(三川町、5月12日)

## ○ 知事のつや姫田植えイベント ○

5月22日(日)、寒河江市の田んぼで、地元の小学生50名と吉村知事、全農山形県本部運営委員会の今田会長が昔ながらの手植えを行いました。当日はあいにくの雨でしたが、泥んこになりながらも、おいしく育つよう願いを込めながら、一株一株ていねいに「つや姫」を植えました。

出来秋には、品質が良く、おいしさ抜群の「つや姫」をお届けできることでしょう。



がんばろう 東北  
がんばろう 山形県!!

## 全国デビュー2年目のつや姫

日本を代表するブランド米として山形つや姫の評価を確立し、全国に定着させることが目標です。

### 平成23年の主なブランド戦略

#### ○生産面

- 作付面積3,200ha、販売数量16,000トﾝで昨年より約3割増加
- 栽培適地で県知事が認定した3,373名の生産者のみが生産
- 有機栽培と特別栽培に限定
- 全国で最も厳しいタンパク質含有率による出荷基準(※タンパク質含有率が低いとおしくなります。)



つや姫レディの店頭キャンペーン

#### ○販売面

- 価格ポジションは、コシヒカリ以上が目標
- 百貨店や米穀専門店などでの重点販売
- 産地、生産者限定など差別化商品の提案



県内販売開始イベント(平成22年)

#### ○PR面

- テレビCM(首都圏)、新聞広告(首都圏・関西圏)、雑誌への掲載等マスメディアを使ったPR
- 農作業や料理関係のイベント等で情報発信と話題づくり
- スポーツや映画、観光事業と連携したPR

## 安全・安心な山形の米づくり環境

農用地の土壌分析調査、農畜産物等の放射性物質調査、そして、大気中の放射線量の状況調査では国が定める水準を大幅に下回っています。

### ・農用地の土壌分析調査結果

作付制限の判断基準を大幅に下回っています。県内では例年どおり農作業を実施

地域	調査地点	地目	調査結果 ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ )
村山	山形市	水田	15
最上	新庄市	水田	13
庄内	鶴岡市	水田	12

作付制限判断基準:5,000 $\mu\text{g}/\text{kg}$

### ・農畜産物等の放射性物質検査結果

厚生労働省が定めた暫定規制値を大幅に下回る山形県産農畜産物

	検査回数 (回)	最低値 ~ 最高値	不検出 回数	暫定 規制値 ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ )
放射性 ヨウ素	38	不検出 ~ 120	32	2000
放射性 セシウム	38	不検出 ~ 7.2	33	500

検査期間:3月24日~5月23日

### ・大気中の放射線量の状況

東京都内より低い山形市の放射線量

場所	3月15日	4月15日	5月15日
山形県 山形市	0.036 ~ 0.078	0.054 ~ 0.055	0.045 ~ 0.046
福島県 福島市	—	2.0	1.6
東京都 新宿区	0.0318 ~ 0.809	0.0720 ~ 0.0816	0.0598 ~ 0.0677

単位:1時間当たりマイクロシーベルト